

第3期

町田市特別支援教育推進計画



2024年3月

町田市教育委員会

－ は じ め に －

町田市教育委員会は、『町田市特別支援教育推進計画』を策定し、町田市における特別支援教育の充実と理解の促進を目指して取り組んでまいりました。特別支援教育は、特別な支援を必要とする児童生徒に対し、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、それぞれの特性に応じて適切な指導と必要な支援を行います。個を理解し、その子ども自身の主体的な取組をどう支援をしていくのかという視点は、障がいの有無にかかわらず、すべての子どもたちに対して必要な視点です。

町田市の現状に目を向けると、市全体の児童生徒数が減少している一方で、特に自閉症・情緒障がい特別支援学級やサポートルームの利用者数は増加傾向が続いており、発達障がいに対する支援の必要性は依然として高い状態です。また、「町田の教育についてのアンケート調査（2022年7月実施）」によれば、多くの教員が特別支援教育に対しての支援体制や研修の充実を望んでいます。特別支援教育は、特別支援学級やサポートルームといった学びの場のみではなく、通常の学級も含めたすべての小・中学校において行われる必要があり、より一層の充実を図ることは急務となっています。

第3期町田市特別支援教育推進計画は、これまでの第1期、第2期においての取組を土台として、児童生徒、保護者及び学校等の意見等を取り入れ、より実効性のある内容を目指していきます。具体的には、第2期に作成した町田市特別支援教育ハンドブックに加え、通常の学級の教員等に向けたハンドブックなど、各学級種別のハンドブックを作成し活用していきます。また授業改善のための研修は、現場ですぐに活かせるよう実践に重点を置いて実施し、特別支援教育の専門性の向上を図っていきます。そして、すべての子どもたちの可能性を最大限に伸ばしていくために、一丸となって本計画を着実に推進していきます。

しかしながら、教育行政や学校関係者の取組や努力だけでは、特別支援教育の推進を通じて目指す共生社会の実現は結実しません。保護者の方々をはじめ、市民の皆様と共に、一人ひとりの子どもたちの成長を願い、協働できますように、今後も引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

2024年3月

町田市教育委員会

はじめに

I 本計画について

- 1 本計画の概要について・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
 - (1) 計画の目的
 - (2) 計画の位置づけ
 - (3) 本計画が目指す町田市の特別支援教育
 - (4) 計画期間
 - (5) 計画の考え方

II 特別支援教育の国や都の動向・町田市の現状

- 1 特別支援教育の国や都の動向・・・・・・・・・・・・・・5
 - (1) 国の特別支援教育
 - (2) 東京都の特別支援教育
 - (3) 全国の在籍者数等の現状
 - [コラム] インクルーシブ教育と特別支援教育
- 2 町田市の特別支援学級等の現状・・・・・・・・・・・・・・10
 - (1) 町田市での学びの場について
 - (2) 特別支援学級・通級指導学級等の児童生徒数と設置校
 - (3) 特別支援学級の児童生徒数の推移
 - (4) 小学校自閉症・情緒障がい特別支援学級の児童数の推移
 - (5) サポートルーム（特別支援教室）の利用児童生徒数の推移
 - (6) 就学相談・進学相談数の推移
 - [コラム] 町田市立小・中学校における特別教育に関わる校内体制
 - (7) 町田の教育についてのアンケート（教員向け）から

III 第2期町田市特別支援教育推進計画の取組について

- 1 第2期推進計画の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
 - (1) 基本目標1 特別支援教育を推進する環境・体制の整備
 - (2) 基本目標2 特別支援学級・特別支援教室における指導力の向上
 - (3) 基本目標3 切れ目のない支援体制の構築
- 2 第2期の振り返りと第3期で取組む課題・・・・・・・・・・20
- 3 第3期推進計画の目標と具体的な取組・・・・・・・・・・22

Ⅳ 第3期町田市特別支援教育推進計画の主な取組

1 基本目標1 専門性の向上と学校支援の充実・・・・・・・・・・24

- (1) 教員研修等の充実
 - (2) 授業リーダー育成事業
 - (3) 町田市特別支援教育ハンドブック（学級種別ごと）の作成と活用
 - (4) 特別支援教育推進モデル校の実践
 - (5) 特別支援教育充実に向けたアウトリーチ支援
 - (6) 特別支援教育支援員の配置・新規開設の特別支援学級への増員
- [コラム] マルチメディアデジ教科書の活用について

2 基本目標2 保護者支援に向けた相談体制の充実・・・・・・・・・・30

- (1) 就学・進学相談会の充実
- (2) 情報提供の充実
- (3) 保護者に対する意識調査の実施
- (4) 教育相談の充実

3 基本目標3 教育環境の充実・・・・・・・・・・32

- (1) 特別支援学級及びサポートルーム拠点校の整備
- (2) 新たな学校づくりにおける特別支援学級及び通級指導学級等の整備

4 基本目標4 共生社会を目指した連携強化・・・・・・・・・・34

- (1) 特別支援教育に関する相談窓口の連携
- (2) 都立特別支援学校との連携
- (3) 切れ目のない支援を行うための関係機関との連携

V その他

- 1 不登校対策について・・・・・・・・・・39
- 2 医療的ケアを必要とする児童生徒について・・・・・・・・・・39
- 3 中学卒業後の進路について・・・・・・・・・・40
- 4 主な相談先・・・・・・・・・・41
- 5 関係書類の様式（就学支援シート・進学転学支援シート・学校生活支援シート）・・・・・・・・44
- 6 放課後等デイサービス・・・・・・・・・・52

Ⅵ 資料

- 1 町田市特別支援教育推進計画設置要領・・・・・・・・・・55
- 2 町田市特別支援教育推進計画検討委員会委員名簿・・・・・・・・・・57
- 3 町田市特別支援教育推進計画策定の経過・・・・・・・・・・58
- 4 用語集・・・・・・・・・・59

I 本計画について

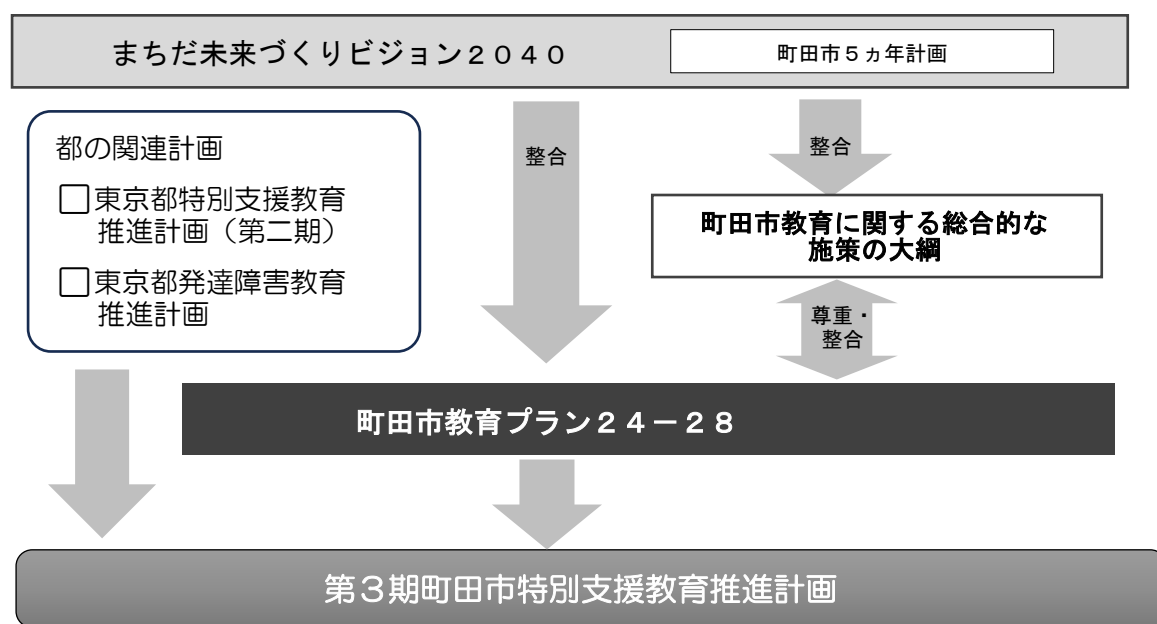
1 本計画の概要について

(1) 計画の目的

「第3期町田市特別支援教育推進計画」は、これまでの「第2期町田市特別支援教育推進計画」(※2020年度～2023年度に実施)の成果と課題を踏まえるとともに、「東京都特別支援教育推進計画(第二期)」及び「東京都発達障害教育推進計画」の内容を踏まえ、町田市における特別支援教育のさらなる充実を図ることを主たる目的としています。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、「町田市教育プラン24ー28」における基本方針Ⅱ「一人ひとりの多様な学びを推進する」の施策2「一人ひとりの特性に応じた特別支援教育を推進する」の重点事業「特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実」にある取組の一つとして位置づけられています。



【関連する計画の概要】

計画の名称	概 要
まちだ未来づくりビジョン2040(2022ー2039)	町田市の市政運営の基本となる計画です。基本構想部分の「2040 年 たい未来」が2039 年度までの18 年間、基本計画部分の「まちづくり基本目標」と「経営基本方針」が2031 年度までの10 年間を、それぞれ計画期間としています。
町田市教育プラン	町田市の教育を振興することを目的に、基本的な方針を定め、その実現に向けて取り組むべき施策・重点事業を策定・推進するものです。
町田市教育に関する総合的な施策の大綱	町田市(地方公共団体)の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、基本的な考え方を示しています。

(3) 本計画が目指す町田市の特別支援教育

○町田市の特別支援教育

特別支援教育とは、障がいのある子どもたちの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握し、もっている力を最大限に伸ばすとともに、生活や学習上の困難さを軽減し改善するために、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

町田市では、障がいの程度や支援の必要性に対して、特別支援学級、サポートルーム、通級指導学級といった多様な学びの場を設置しています。そして、特別な支援を必要とする全ての児童生徒を対象として、全ての小・中学校の通常の学級を含めたそれぞれの学びの場において特別支援教育を推進していきます。

＜町田市の特別支援教育のポイント＞

障がいのある子どもたちの自立や社会参加に向け

- ・子どもの主体的な取組を支援する
- ・一人ひとりの持っている力を最大限に伸ばす
- ・特別な支援を必要とする全ての児童生徒が対象
- ・通常の学級も含めて学校全体で取り組む

○目指す子どもの姿

特別な支援を必要とする子どもたちは、日々の中で困難さを感じる場面が多くあります。子どもたちにとって必要な支援を行うためには、子どもの行動の意味や子どもが求めていることを理解するとともに、子どもの良さに目を向けることが大切です。そのために、「子どもの良さを伸ばす支援」、「子どもを理解し寄り添った支援」の観点でアプローチを行います。

特別支援教育は、一人ひとりの特性やニーズに応じた学習や活動を行い、体験によって学ぶことを大切にしています。子どもが活動の中で、成功体験や達成感の積み重ね、挑戦と失敗、気持ちが通じ合うなどの体験を通して、自己肯定感や自己有用感を育み、人間関係を形成していけるように支援をしていきます。

そして社会の中で自分らしく豊かに成長していけるよう、必要な支援を受けながら「自立」し、様々な経験を通して周りとかかわる「社会参加」をしていく基礎となる力を身につける子どもを目指していきます。

○具体的な手だて

本計画の町田市の特別支援教育の目指す子どもの姿を実現するために、具体的な手だてとして、学校の指導力・支援力の向上、保護者支援、教育環境、共生社会に向けた連携の側面から取組みます。

目指す子どもの姿

社会の中で自分らしく豊かに成長していけるよう

自立 と **社会参加** の
基礎となる力を身につける子ども

ニーズに応じた学びの場

通常学級

1 学級 35 人(中学校は 40 人)までの学級で学び生活します。

特別支援学級

1 学級 8 名までの少人数の学級で学び生活します。

サポートルーム・通級指導学級

通常の学級に在籍し週 1 回程度利用します。

【一人ひとりの特性やニーズに応じた学習や活動】

- 褒められる、認められる体験
- できた！わかった！成功体験
- 小さな成就感、達成感の積み重ね
- 気持ちを伝える、友達の話を聞く
- 新しいことへの挑戦
- 何かに感動する体験

【体験によって育むもの】

自己肯定感
自己有用感

自尊感情

相互理解

人間関係
の形成

具体的な手だて

学校の指導力・支援力の向上

教員研修・授業リーダー育成・町田市版ハンドブック活用・アウトリーチ支援等

保護者支援

就学進学相談会の充実・情報提供・意識調査・教育相談体制の充実等

教育環境

特別支援学級及びサポートルーム拠点校の整備等

共生社会に向けた連携

相談窓口の連携・切れ目のない支援を行うための関係機関との連携等

支援の視点

子どもの良さを
伸ばす支援

子どもを理解し
寄り添った支援

町田市の特別支援教育

特別支援教育は、「子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うこと」です。町田市では、「通常の学級、特別支援学級、サポートルーム、通級指導学級のいずれの学びの場においても、子どものもっている力を最大限に伸ばすとともに、生活や学習上の困難さを軽減し改善するために、適切な指導及び必要な支援を行う」ために、特別支援教育を推進していきます。

(4) 計画期間

2024年度から2028年度までの5年間です。関連する計画は次の通りです。

	2015	2020	2025
まちだ未来づくりビジョン等	まちだ未来づくりプラン（2012-2021）		まちだ未来づくりビジョン 2040
町田市教育プラン	2014-2018	2019-2023	2024-2028
町田市特別支援教育推進計画	第1期 2015-2019	第2期 2020-2023	第3期 2024-2028

(5) 計画の考え方

町田市特別支援教育は、「町田市教育に関する総合的な施策の大綱」における基本理念・基本方針や、「町田市教育プラン 24-28」の教育目標・基本方針・施策を踏まえて推進します。

【町田市教育に関する総合的な施策の大綱（2024～2028 年度）】

基本理念 **誰もが自分らしく未来を描き、叶えるまちへ**

- 基本方針
- 1 子どもが自分らしく生きていく力を育む
 - 2 多様なニーズに応え、学びの環境を整える
 - 3 地域ぐるみで子どもの育ちを支え、ともに成長する
 - 4 生涯にわたり学び、活躍できる環境を整える

【町田市教育プラン 24-28】

教育目標 **自ら学び、あなたと学び、ともに創る町田の未来**

町田市教育委員会は、全ての市民一人ひとりが、学びを通して自らの生きがいを見つけ、他者への理解を深め、学び合うことで、自らが望む未来を創造することができる地域社会の構築を目指します。

特別支援教育関連

基本方針Ⅱ－施策2 重点事業 20 特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実

基本方針Ⅲ－施策1 重点事業 25 特別支援学級等の整備

また、第3期町田市特別支援教育推進計画を推進していくにあたり、町田市の特別支援教育をさらに充実させていくために、当事者の声を聞くことを大切にします。児童生徒、保護者及び教員等に対してアンケートや聞き取り調査を行い、実態の把握や成果を確認し、実効性のある内容への改善へつなげていきます。

